

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
現代文化学部	教授	武田昌憲	文学修士

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 茨城女子短期大学FD視聴覚教育としてのNHK大河ドラマの活用を提示茨城女子短期大学FD視聴覚教育としてのNHKラジオ「おはなし出てこい」の活用を提示(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)	平成18年10月10日 平成20年1月8日	作家作品鑑賞Ⅱ 軍記物語〔保元物語〕を中心としてイデオロギーの克服の問題と軍記物語の魅力について教育方法を提示よりよい授業のために「児童文化」の可能性―読む書く話す聞く―「声の力と国語教育」の一環として「児童文化」を捉える試み
(2)作成した教科書・教材・参考書 あらすじで読む日本の古典(新人物往来社)	平成23年5月10日	「太平記」の項執筆。参考書として平成23年度紹介。平成24年度から「日本文学概論Ⅰ」「日本古典文学史Ⅰ・Ⅱ」等での教科書として利用
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 千葉県立東葛飾高校リベラルアーツ講座	平成20年10月18日	教員・父母・生徒対象の講演「古典文学の魅力ー『平家物語』妓王の世界ー」
(4)その他教育活動上特記すべき事項 茨城女子短期大学公開講座 茨城県県民大学講座(総和町) ひたちなか市市民大学講座 茨城県弘道館アカデミー 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城県央地域高齢者はつらつ百人委員会講演会 藝文友の会 中世文学紀行 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 藝文友の会 茨城女子短期大学公開講座 藝文友の会 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 日本ポイラ協会講演会 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 千葉県立東葛飾高校講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 北茨城市市民大学講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 東海村講座 茨城女子短期大学公開講座 茨城女子短期大学公開講座 袖ヶ浦市市立図書館公開講座 茨城女子短期大学公開講座 尚絅学園公開講座	平成17年5月～7月 平成17年6月～8月 平成17年6月～10月 平成17年9月 平成17年10月 平成17年11月 平成17年11月 平成17年11月 平成17年11月 平成18年7月 平成18年10月 平成18年10月 平成18年12月 平成19年6月 平成19年6月 平成19年9月 平成19年11月 平成19年11月 平成19年11月 平成20年7月 平成20年10月 平成20年10月 平成20年11月 平成21年6月～7月 平成21年9月～11月 平成21年11月 平成21年11月～12月 平成21年12月～1月 平成22年6月～7月 平成22年9月～11月 平成22年11月 平成23年8月	

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
現代語で読む歴史文学『保元物語』	単	平成17年1月	勉誠出版		全頁

中世末期軍記圏の基礎的研究—天草・島原の乱関係軍記を中心として	単	平成18年3月	平成15年度～17年度文科省学術研究会 科学研究費補助金研究成果報告書		全頁
使者文学の基礎的研究—戦国・島原の乱を中心として—	単	平成24年4月	平成20年～23年度科学研究費補助金研究成果報告書		全頁
(論文)					
『太平記』筑後川の合戦	単	平成17年3月	国文学 解釈と教材の研究650-3		102-107p
『天草軍記』と『元寛日記』小考	単	平成17年3月	茨女国文		9-16p
後醍醐天皇と建武政権	単	平成17年4月	歴史読本 785		64-65p
室町時代の騒乱	単	平成17年11月	『合戦騒動事典』総論編収		519-530p
島原の乱の合戦・覚書(稿)—三宅藤兵衛の場合と『太平記評判』のことなど	単	平成18年3月	茨女国文 18		8-14p
翻刻『天草軍記』(元寛日記抜粋)(稿)	単	平成18年3月	茨城女子短期大学紀要33		49-79p
洲本市立図書館蔵『大友記』について一書誌として誤りを正さない正しさ	単	平成19年3月	茨女国文19		6-12p
近現代の戯曲・小説作家と『平家物語』—作家別作品一覧	単	平成19年3月	茨城女子短期大学紀要34		
『梅松論』の行方一足利の権威	単	平成19年3月	軍記と語り物 43		
那須与一の「扇的」はなぜ扇か—古典教育の一面として	単	平成20年3月	茨女国文20		8-15p
内閣文庫蔵・天草・島原の乱主要関係軍記 書誌(追加)	単	平成20年3月	茨城女子短期大学紀要35		
島原の乱の軍記—中世の余韻とダイナミズム—	単	平成20年3月	『中世の回廊』勉誠出版収		
平重盛『平家物語』の孝子話	単	平成20年7月	『アジア遊学』112		
親孝行は不幸の始まりか—『平家物語』の忠孝説話群・覚書—古典教育の一面として—	単	平成21年3月	茨女国文21		6-12p
島原の乱の使者の戦い(その1)—毛利藩の場合—	単	平成21年3月	茨城女子短期大学紀要36		
上使の行程—板倉重昌 徒松平信綱の場合—(覚書)	単	平成22年3月	茨女国文22		13-18p
司馬遼太郎『坂の上の雲』—人間固定概念(牡蠣殻)論—	単	平成22年3月	茨城女子短期大学紀要37		
其中庵時代と山口農業高校・糸米のことなど	単	平成22年5月	『種田山頭火と随想』勉誠出版収		204-209p

仙崎の思いと悲愴	単	平成22年9月	『金子みすず 永遠の抒情』勉誠出版収		97-110p
国語教育と児童文化—お話の力と国語教育の接点—	単	平成23年3月	茨女国文23		18-24p
島原の乱の使者の戦い(その2)—紀州藩・仙台藩の場合—	単	平成23年3月	茨城女子短期大学紀要38		17-21p
『獻祖遺跡 有馬日記附』の中の『太平記評判』記事について	単	平成24年3月	尚綱語文 創刊号		2-8p
寛永十四・十五年(島原の乱)当時の藩と島原の乱出兵状況(稿)—島原の乱の使者の戦い—	単	平成24年3月	尚綱学園研究紀要A人文・社会科学編6		1-22P
島原の乱の使者の戦い(4)—土佐藩の場合—	単	平成25年3月	尚綱語文 2		1-7P
『寛永諸家系図伝』と『寛政重修諸家譜』にみる島原の乱記事について(覚書)	単	平成25年3月	尚綱大学研究紀要45		1-11P
島原一揆と使者—中世軍記の種子と終焉と—	単	平成25年11月	『文学・語学』207		148-158P
島原の乱の使者の戦い(5)—広島藩・三次藩の場合	単	平成26年3月	尚綱語文 3		1-7P
絵図は何を「物語る」か—原城包囲図の場合・山口県文書館蔵の「原城攻囲図」—	単	平成26年3月	尚綱大学研究紀要46		
毛利家文庫蔵『澄水記』(翻刻)	単	平成27年3月	尚綱大学研究紀要47		25-36P
『平家物語』国語教育の一側面—諸本のことなど—	単	平成27年3月	尚綱語文 4		3-10P
一揆鎮圧—島原一揆の「使者」の一面、福井藩・松江藩—	単	平成27年8月	『いくさと物語の中世』(汲古書院)収		469-486P
『平家物語』国語教育の一側面(2)—那須与一伝説の広がりと魅力—	単	平成28年3月	尚綱語文 5		8-14P
『平家物語』国語教育の一側面(3)—木曾最後伝説の広がりと魅力—	単	平成29年3月	尚綱語文 6		8-14P
『平家物語』国語教育の一側面(4)—池月・磨墨伝説の広がりと魅力—	単	平成30年3月	尚綱語文 7		10-16p
『平家物語』国語教育の一側面(5)—平家落人伝説の広がりと魅力—	単	平成31年3月	尚綱語文 8		7-14p
「後南朝」と『拙堂文集』覚書	単	令和2年3月	尚綱語文 9		1-5p
「後南朝」の軍記物語	単	令和2年5月	『乱世を語り継ぐ』(「軍記物語講座」第4巻)・花鳥社		183-192p
熊本県の平家落人伝説—国語教育の一助と	単	令和3年3月	尚綱語文10		1-8p
菊地氏の活躍を支える者—使者、八幡宗安の活躍—	単	令和4年3月	尚綱語文11		1-6p
(その他)					
合戦騒動事典	共著	平成17年11月	勉誠出版	総集編・赤坂千早の合戦・宇治合戦等8項目執	

教科書が教えない歴史のその後	分担執筆	平成19年7月	新人物往来社	室町編担当	83-97P
京都異界の旅	分担執筆	平成19年7月	勉誠出版	平将門・菅原道真担当	
司馬遼太郎事典	分担執筆	平成19年12月	勉誠出版	「義経」、「司馬文学と中世」「乱世への眼」担当	
天皇皇族歴史伝説大事典	共著	平成20年12月	勉誠出版	後醍醐天皇を中心に66皇族担当	
日本文化文学人物大事典	分担執筆	平成21年2月	勉誠出版	足利尊氏・今川了俊・小島法師担当	
日本歴史の英雄	分担執筆	平成21年10月	新人物往来社	「足利尊氏と室町幕府」担当	
寺社縁起伝説事典	共著	平成21年12月	戎光祥出版	地藏寺・中禅寺・等持院・法住寺・枕石寺担当	
坂本龍馬事典	共著	平成21年12月	勉誠出版	薩長同盟・明倫館等7項目担当	
福岡県文学事典	分担執筆	平成22年3月	勉誠出版	文永・弘安の役を描いた近代文学」担当	
平家物語大事典	分担執筆	平成22年11月	東京書籍	佐竹昌義・壇ノ浦・陰徳太平記等15項目担当	
日本ミステリアス 妖怪・怪奇・妖人 事典	分担執筆	平成23年2月	勉誠出版	大森彦七・崇徳上皇・平将門・源義平・護良親王	
戦国軍記事典—天下統一編—	共著	平成23年12月	和泉書院	天草・島原の乱概説、島原関係軍記35作品担当。他に陰徳太平記等5作品担当	
古事記小事典—古代の真相を探る—	分担執筆	平成24年10月	勉誠出版	大山守命と大雀命担当	
鎌倉謎解き散歩	共著	平成25年6月	中経出版	15項目、40ページ分分担執筆	
書評・太平記の動向 書評にかえて『『太平記』生成と表現世界』和田琢磨(新典社)を読む	単	平成29年3月	古典遺産 66		

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成14年4月	早稲田大学国文学会編集委員・査読委員(平成18年2月まで)
平成18年3月	窪田空穂賞(早稲田大学)選考委員(平成20年2月まで)
平成28年度	熊日新聞コンクール「高校PTA新聞の部」審査委員(現在に至る)
科学研究費補助金	
平成2年度奨励研究(A) 研究代表者 武田昌憲	『太平記』享受史の基礎的研究—近世版本の変遷を中心に—
平成3年度奨励研究(A) 研究代表者 武田昌憲	『太平記』享受史の基礎的研究—刊年不明版本の解明を中心に—
平成7・8年度一般研究(C) 研究代表者 武田昌憲	大友関係軍紀の伝本研究
平成9年2月出版助成金 研究代表者 梶原正昭	『戦国軍記辞典』群雄割拠篇(和泉書院)
平成15年度～17年度 基盤研究(C) 研究代表者 武田昌憲	中世末期軍記圏の基礎的研究—天草・島原の乱関係軍記を中心として—
平成20年度～23年度基盤研究(C) 研究代表者 武田昌憲	使者文学の基礎的研究—戦国・島原の乱を中心として—